



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月14日

上場会社名 OATアグリオ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4979 URL https://www.oat-agrio.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡 尚
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 重内 俊之 TEL 03-5283-0262
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	11,522	△10.7	1,408	3.0	1,298	7.6	796	7.4
2019年12月期第2四半期	12,901	35.5	1,367	△38.2	1,206	△45.7	741	△51.7

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 529百万円 (103.6%) 2019年12月期第2四半期 260百万円 (△81.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	147.10	—
2019年12月期第2四半期	136.98	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。
 2. 2019年12月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2019年12月期第2四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	30,752	7,130	20.8	1,180.28
2019年12月期	29,724	6,807	20.5	1,124.13

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 6,387百万円 2019年12月期 6,083百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,779	△0.6	1,405	30.5	1,259	50.3	613	—	113.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大しており、今後の業績に与える影響について、現時点では未確定要素が多いことから、2020年12月期の通期業績予想及び期末配当予想は据え置いております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 2 Q	5,536,000株	2019年12月期	5,536,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	123,954株	2019年12月期	123,954株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 2 Q	5,412,046株	2019年12月期 2 Q	5,412,145株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第2四半期連結累計期間に関連する指標については暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額に基づいて記載しています。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年6月30日)におけるわが国経済は、雇用環境の改善や個人消費の持ち直しの動きがみられたものの、2020年2月下旬に新型コロナウイルス感染症に関する政府の緊急対応策が発表されて以降、景気への悪影響が出始めております。一方、世界経済に目を向けると、新型コロナウイルス感染症の急速な拡がりにより、世界各国の経済も急激に減速に転じており、先行きを見通すことが困難な状況となっております。

こうした状況の下で、当社は丸善薬品産業株式会社との業務提携により、生産者重視の営業体制の構築に取り組んでおります。また、国内では葉面散布肥料のリニューアル、新規液体肥料の発売、海外では主力3剤(ダニサラバ・カリグリーン・アトニック)に注力して活動を進めております。さらに、研究開発では新製品上市、既存製品改良改善により市場の拡大を図ります。

このような経営環境の下で、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は、国内及び海外販売の減少、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、Blue Wave Holding B.V.では花卉の需要低下で販売が減少、連結子会社の清算による販売活動の縮小などにより前年同四半期比で減少しました。一方、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定に伴う一過性のたな卸資産評価額の費用負担が解消したことにより前年同四半期比で売上原価が減少し、販売管理費は研究開発費用が前年同四半期比で増加しましたが、営業利益は前年同四半期比で増加しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は115億22百万円(前年同四半期比13億79百万円減少、同10.7%減)、営業利益は14億8百万円(前年同四半期比40百万円増加、同3.0%増)、経常利益は12億98百万円(前年同四半期比91百万円増加、同7.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億96百万円(前年同四半期比54百万円増加、同7.4%増)となりました。

なお、当社グループの第1四半期及び第2四半期連結会計期間の経営成績は、国内農薬事業を中心に需要盛期に備えた出荷が集中するため、売上高及び営業利益等が他の四半期会計期間と比較して多額となる傾向にあります。

当社グループはアグリテクノ事業の単一セグメントであります。各分野別の経営成績につきましては以下のとおりであります。

農薬分野において、国内農薬市場では、競合農薬メーカーの新規殺虫剤等の影響を受けて殺虫剤「ハチハチ乳剤」、「オリオン」、殺ダニ剤「ダニサラバ」などの販売の減少により売上高が減少いたしました。また、海外農薬市場では、販売戦略の見直しに伴う販売価格の上昇による影響で、海外向けの殺虫剤「オンコル」の販売の減少により売上高が減少しました。その結果、農薬分野の売上高は61億82百万円(前年同四半期比7億94百万円減少、同11.4%減)となりました。

肥料・バイオスティミュラント分野においても、「アトニック」などの販売が前年同四半期比で減少しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響でオランダのBlue Wave Holding B.V.の販売が減少したことにより売上高が減少しました。その結果、肥料・バイオスティミュラント分野の売上高は53億39百万円(前年同四半期比5億84百万円減少、同9.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は307億52百万円で、前連結会計年度末に比べ10億27百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加5億70百万円、受取手形及び売掛金の増加18億99百万円、商品及び製品の減少4億19百万円、のれんの減少3億66百万円によるものであります。

負債につきましては236億21百万円で、前連結会計年度末に比べ7億4百万円の増加となりました。これは主に短期借入金の増加16億38百万円、支払手形及び買掛金の減少2億86百万円、長期借入金の減少5億3百万円によるものであります。

純資産は71億30百万円で、前連結会計年度末に比べ3億22百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加5億79百万円、為替換算調整勘定の減少2億91百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は38億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億46百万円増加しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、59百万円の支出（前年同四半期は3億34百万円の収入）となりました。主な収入要因は税金等調整前四半期純利益12億88百万円、減価償却費4億22百万円、たな卸資産の減少5億78百万円等によるものであります。また、主な支出要因は売上債権の増加19億45百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億14百万円の支出（前年同四半期は2億80百万円の支出）となりました。主な支出要因は有形固定資産の取得による支出86百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、8億55百万円の収入（前年同四半期は3億29百万円の収入）となりました。主な収入要因は短期借入金の増加14億80百万円、長期借入れによる収入79百万円等によるものであります。また、主な支出要因は長期借入金の返済による支出4億1百万円、配当金の支払額2億16百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症が世界的な拡大をみせており、今後の政府の対応や顧客の購買動向等、業績に影響を与える未確定要素が多く、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算出が非常に困難であります。よって、2020年12月期の予想につきましては、2020年2月14日に公表いたしました2020年12月期の業績予想を据え置くことといたしました。今後、外部環境の推移や事業の進捗状況等を踏まえて、合理的な算定が可能となり、開示が必要と判断された場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,414	3,984
受取手形及び売掛金	5,084	6,983
商品及び製品	3,041	2,622
仕掛品	490	498
原材料及び貯蔵品	1,647	1,442
その他	784	806
貸倒引当金	△26	△38
流動資産合計	14,436	16,299
固定資産		
有形固定資産	4,047	3,777
無形固定資産		
のれん	6,848	6,482
顧客関係資産	2,878	2,748
その他	417	389
無形固定資産合計	10,144	9,620
投資その他の資産	1,095	1,055
固定資産合計	15,288	14,452
資産合計	29,724	30,752
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,418	2,131
短期借入金	6,991	8,629
未払法人税等	297	420
賞与引当金	30	30
売上割戻引当金	38	138
返品調整引当金	17	17
損害賠償引当金	137	48
その他	1,966	1,792
流動負債合計	11,899	13,208
固定負債		
長期借入金	9,150	8,647
退職給付に係る負債	244	204
繰延税金負債	942	900
その他	681	660
固定負債合計	11,017	10,412
負債合計	22,917	23,621

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	461	461
資本剰余金	2,410	2,410
利益剰余金	4,059	4,639
自己株式	△162	△162
株主資本合計	6,769	7,349
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	△5
為替換算調整勘定	△671	△963
退職給付に係る調整累計額	△19	7
その他の包括利益累計額合計	△685	△961
非支配株主持分	724	743
純資産合計	6,807	7,130
負債純資産合計	29,724	30,752

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	12,901	11,522
売上原価	7,469	6,064
売上総利益	5,432	5,457
販売費及び一般管理費	4,064	4,049
営業利益	1,367	1,408
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	4	5
受取技術料	41	—
その他	27	22
営業外収益合計	82	36
営業外費用		
支払利息	140	102
支払手数料	76	—
為替差損	23	34
その他	3	9
営業外費用合計	243	146
経常利益	1,206	1,298
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	0	1
関係会社株式評価損	15	—
減損損失	—	4
子会社清算損	—	4
特別損失合計	15	10
税金等調整前四半期純利益	1,191	1,288
法人税、住民税及び事業税	644	454
法人税等調整額	△206	△9
法人税等合計	437	444
四半期純利益	753	844
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	48
親会社株主に帰属する四半期純利益	741	796

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	753	844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26	△12
為替換算調整勘定	△518	△311
退職給付に係る調整額	△1	9
その他の包括利益合計	△493	△314
四半期包括利益	260	529
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	266	502
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	27

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,191	1,288
減価償却費	442	422
のれん償却額	291	279
減損損失	—	4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	19	△11
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△28	11
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	1	0
売上割戻引当金の増減額 (△は減少)	104	99
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5	0
受取利息及び受取配当金	△13	△14
支払利息	140	102
支払手数料	76	—
為替差損益 (△は益)	△13	△1
固定資産除売却損益 (△は益)	△0	0
関係会社株式評価損	15	—
子会社清算損益 (△は益)	—	4
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,311	△1,945
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,006	578
仕入債務の増減額 (△は減少)	62	△253
その他	△280	△51
小計	708	515
利息及び配当金の受取額	13	11
利息の支払額	△140	△102
法人税等の支払額	△247	△397
損害賠償金の支払額	—	△86
営業活動によるキャッシュ・フロー	334	△59
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	2	△26
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	43
有形固定資産の取得による支出	△208	△86
無形固定資産の取得による支出	△63	△41
敷金の差入による支出	△0	—
その他	△10	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△280	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,115	1,480
長期借入金の返済による支出	△1,202	△401
長期借入れによる収入	6,944	79
リース債務の返済による支出	△69	△78
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△216	△216
非支配株主への配当金の支払額	△11	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	329	855
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△135
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	381	546
現金及び現金同等物の期首残高	2,294	3,328
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,676	3,875

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

新型コロナウイルス感染症の影響については、今後の広がり方や収束時期等についての不確定要素が多いが、当社グループでは入手可能な情報等を踏まえ、一定期間にわたり影響が継続すると仮定し、固定資産の評価等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、アグリテクノ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。